



CIM-GIRDER 機能向上項目まとめ
Ver1.3.0

2020.12.04

オフィスケイワン株式会社

目次

1. 箱桁の H 鋼横桁対応.....	3
2. 端支点ブラケット入力機能追加.....	4
3. 箱桁巻きコン入力機能追加.....	5
4. 主桁毎に平面線形を設定する機能追加.....	6
5. ブラケットに開口追加	7
6. 中間ダイヤにステップ追加.....	8
7. 横構ガセットの端部立ち上がり寸法入力機能追加	8
8. 開口のリングプレート追加.....	9
9. 横桁垂直補剛材の開口による分割.....	9
10. 開口の左右カラープレート厚・幅を変更する機能追加	10
11. 主桁水平補剛材と格点ダイヤ水平補剛材の自動取り合い機能追加	11
12. 主桁水平補剛材の自動取り合いで対象の補剛材取り付け角考慮.....	11
13. 検査路爪先板の分割機能追加	12
14. 壁高欄に目地モデル追加.....	12

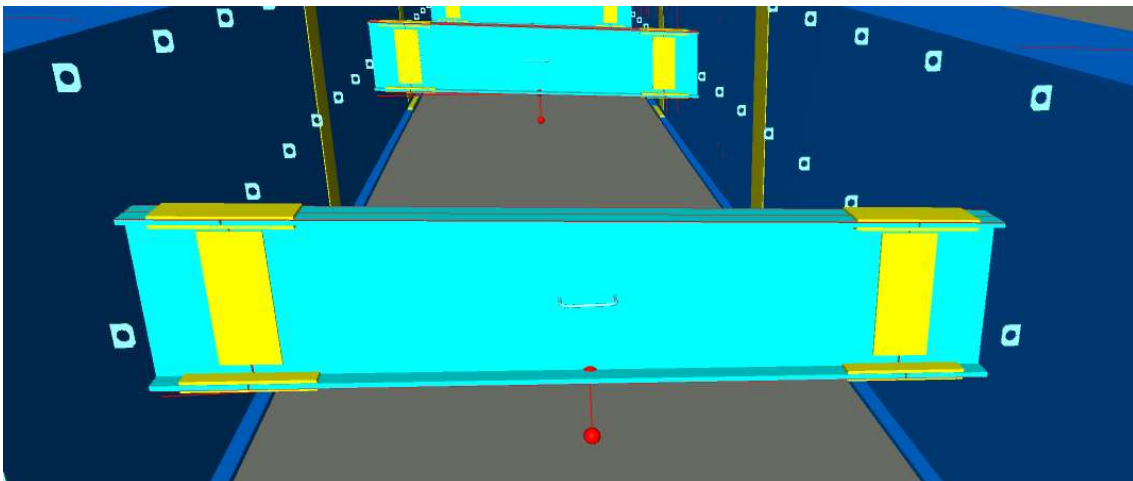
1. 箱桁の H 鋼横桁対応

箱桁での H 構の横桁に対応できるようになりました。

従来：上下フランジ内逃げの横桁として処理していたため、ウェブ上下縁の高さを押さえる必要があったため、横断勾配が変化するとその都度ウェブ高さ等の手計算が必要であった。

新機能：钣桁同様ウェブ中心高さを押さえるだけとなった。

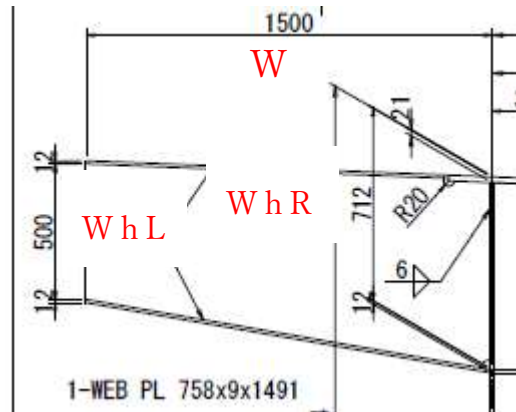
横断	HL	HR	WhL	WhR	Wt	UFb	UFt	LFb	LFt	H鋼
S1	0	0	2100	2100	15	300	-12	300	12	0
C1	1350	1350	0	0						1
C2	1350	1350	0	0						1
C3	1350	1350	0	0						1
C4	1350	1350	0	0						1
C5	1350	1350	0	0						1
P1	678	678	1322	1322	13	400	-22	400	22	0
C6	1350	1350	0	0						1
C7	1350	1350	0	0						1
C8	1350	1350	0	0						1
S2	0	0	2100	2100	10	300	-12	300	12	0



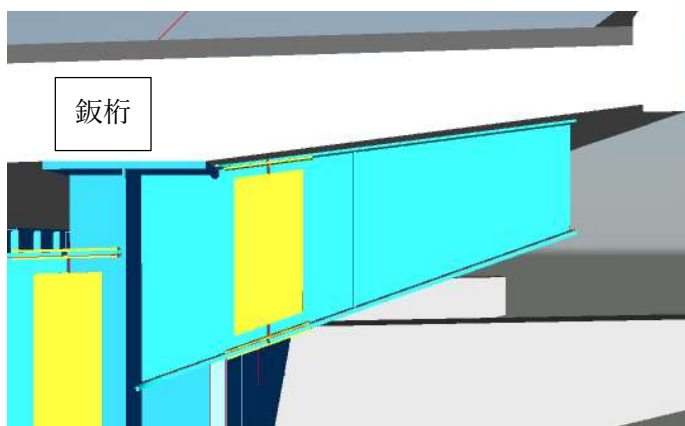
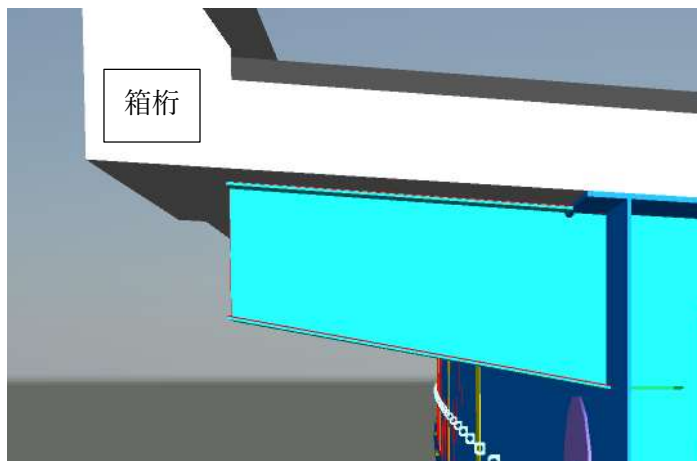
2. 端支点ブラケット入力機能追加

床版データより床版下面の高さを自動算出しブラケットモデルが簡単に作成できるようになりました。ただし、床版データを使用するため、床版データ作成後でなければ実行する事はできません。

左右	横断	主桁	W	WhL	WhR
左	S1	G1	1500	512	724
右	S1	G2	1500	724	512
左	S2	G1	1500	512	724
右	S2	G2	1500	724	512



上フランジは内逃げとして入力します。



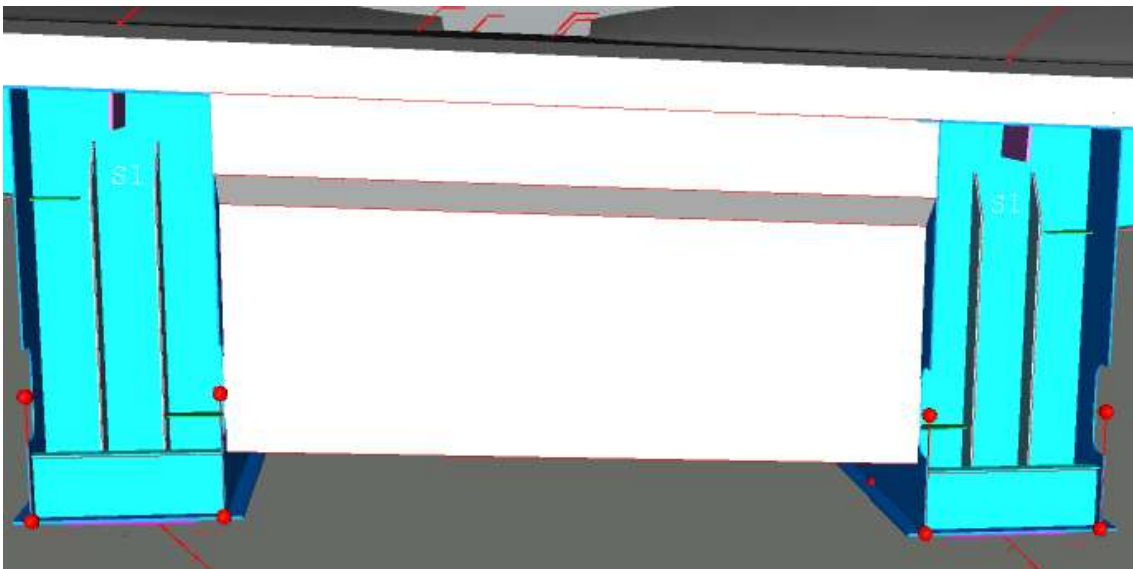
3. 箱桁巻きコン入力機能追加

箱桁の横桁に鋳桁同様の巻きコンの入力機能を追加しました。入力は鋳桁と同様です。

☑ 確認済み

巻きコン情報 3 ▲ ▼

横断	始端	終端	H0	H1	H2	H3	H4	H5	W1	W2	W3	W4
S1	G2	G1	0	2300	500	200	0	0	300	300	200	0
S2	G2	G1	0	2300	0	0	500	200	300	300	0	200
P1	G2	G1	500	1700	0	0	0	0	350	350	0	0



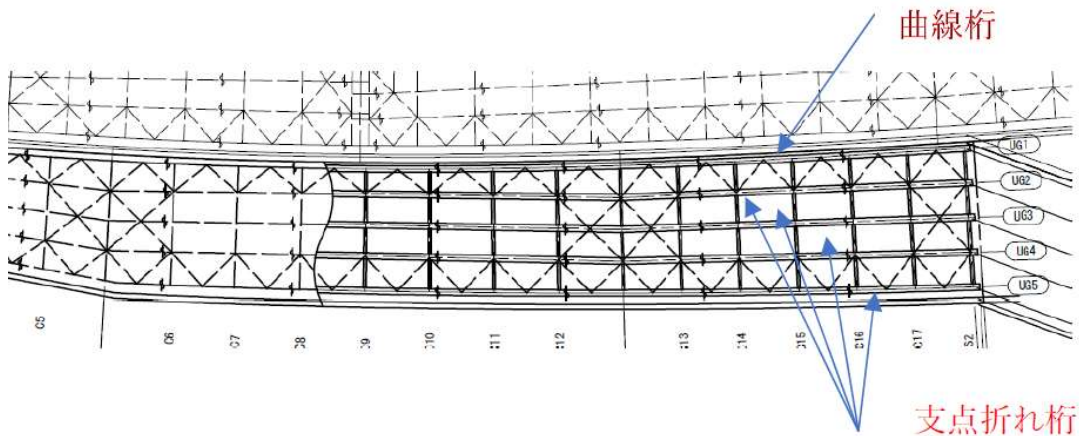
4. 主桁毎に平面線形を設定する機能追加

従来：全主桁一括指定

新機能：桁毎に入力する機能 全桁共通の場合は従来通り一括入力がかまいません。

座標変換								
C0	X0	Y0	Z0	C1	X1	Y1	Z1	入力座標
0	0	0	0	0	0	0	0	小座標

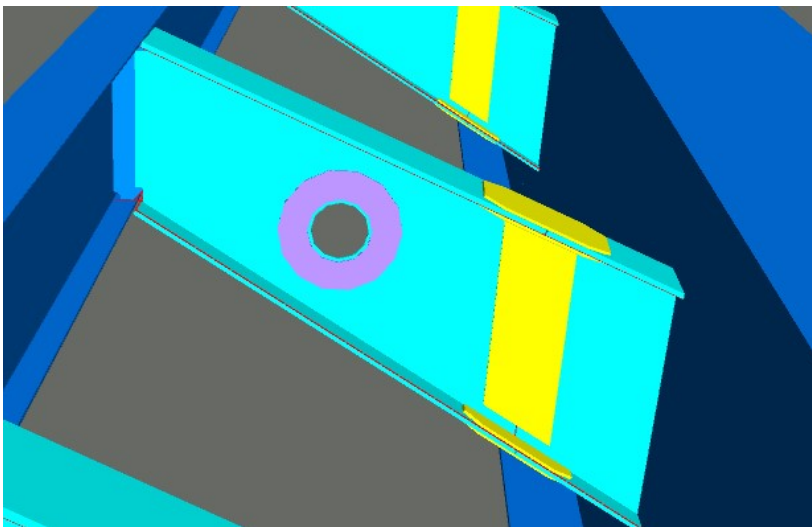
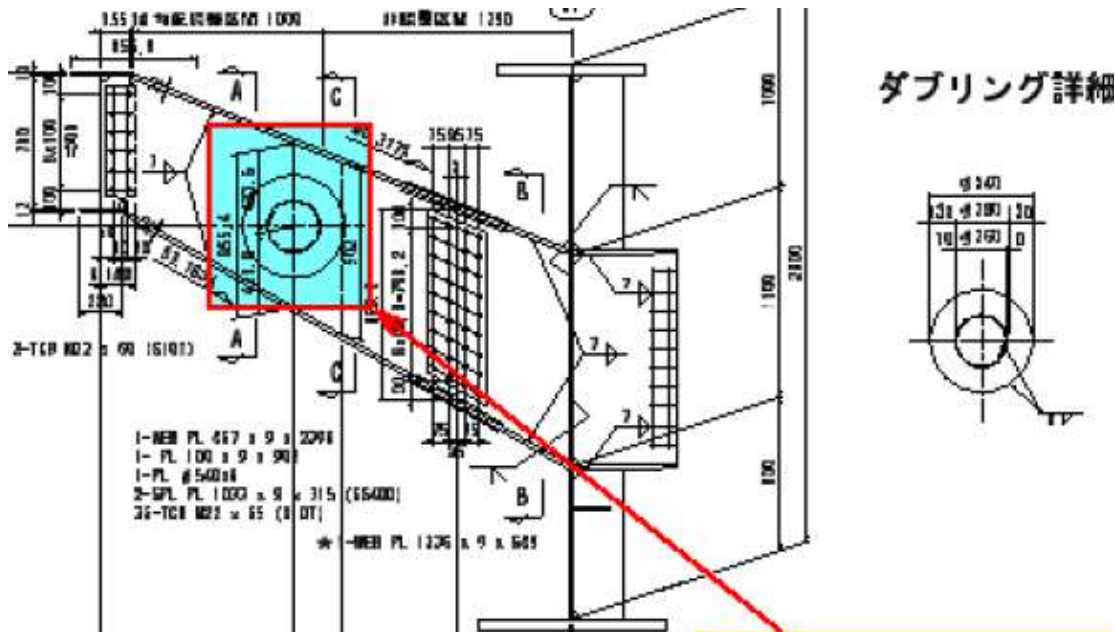
個別線形設定					
G1	G2	G3	G4	G5	
曲線	▼ 支点折れ	▼ 支点折れ	▼ 支点折れ	▼ 支点折れ	▼



5. ブラケットに開口追加

開口代表の入力機能を追加しました。

添接タイプ	連結面	連結SP	開口	UfbE
3	表 ▾ 0	0		300
3	表 ▾ 0	0	4	300
3	表 ▾ 0	0		300
3	表 ▾ 0	0		300



6. 中間ダイヤにステップ追加

従来：横リブ代表で定義する中間ダイヤにステップの定義が無かった

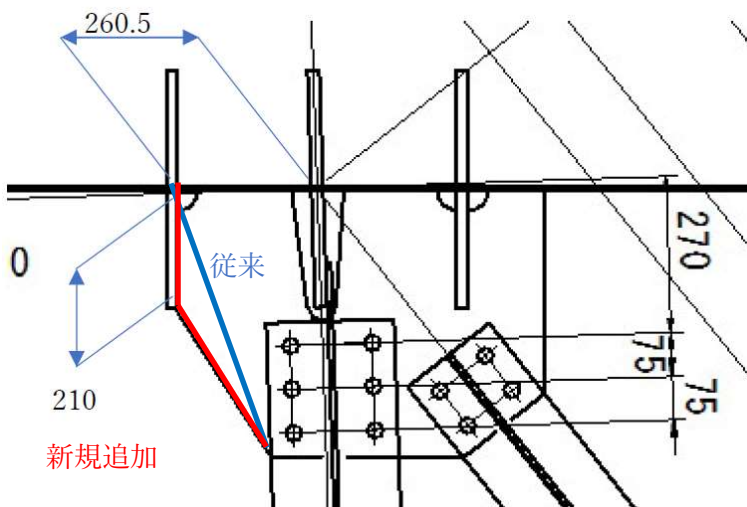
新機能：格点ダイヤだけでなく中間ダイヤでもステップの定義ができるようになった。

中間ダイヤ厚	材質	開口	ステップ	上スカラップ	下スカラップ
9		3	2	1	1
0		0	0	0	0

7. 横構ガセットの端部立ち上がり寸法入力機能追加

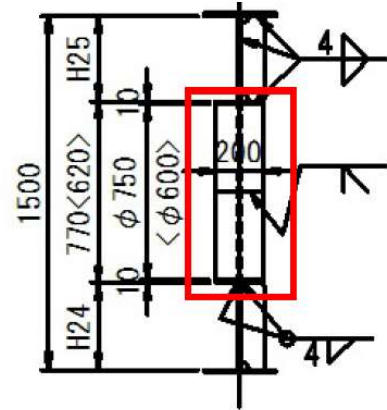
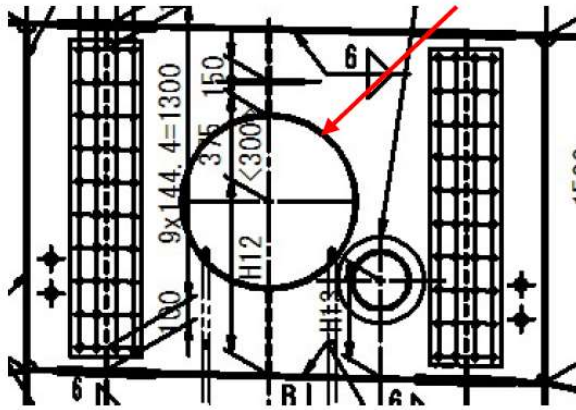
従来：立ち上がり寸法の入力が無かったため、下図の青線の形状しかできなかった。

新機能：立ち上がり寸法の入力により支点補強部材で止まる場合にも対応できるようになった

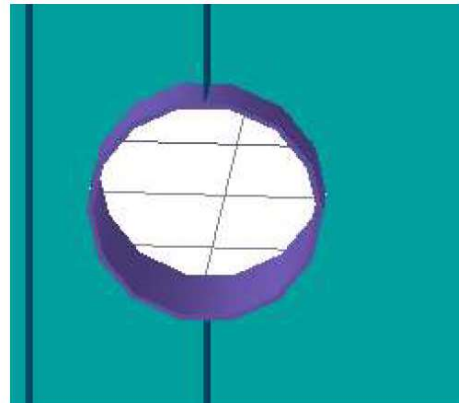


前	中	後	前長	後長	スカラップ
無	横桁		260.5/210	0	1
	対傾構		0	0	1
	対傾構		0	0	1
	横桁		0	0	1

8. 開口のリングプレート追加



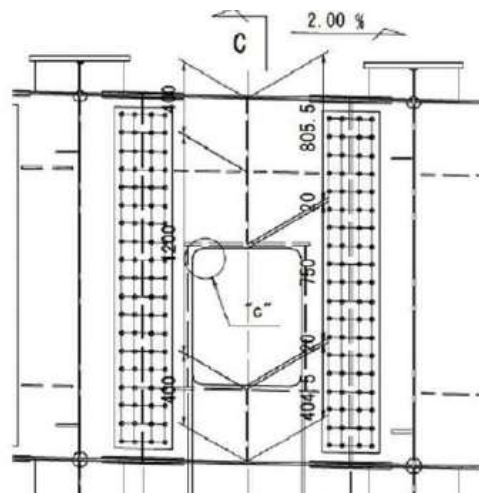
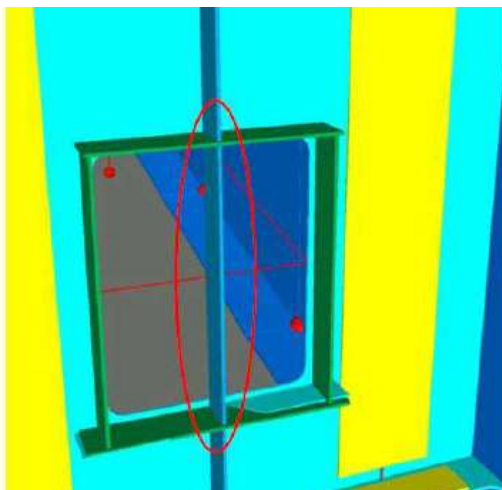
蓋取り付け面	リング幅	厚	材質	メモ
▼				G1
▼				G2
▼				G1P
▼				G2P
▼				G2P
▼	200	9		C1

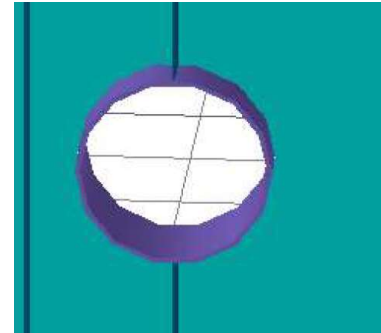
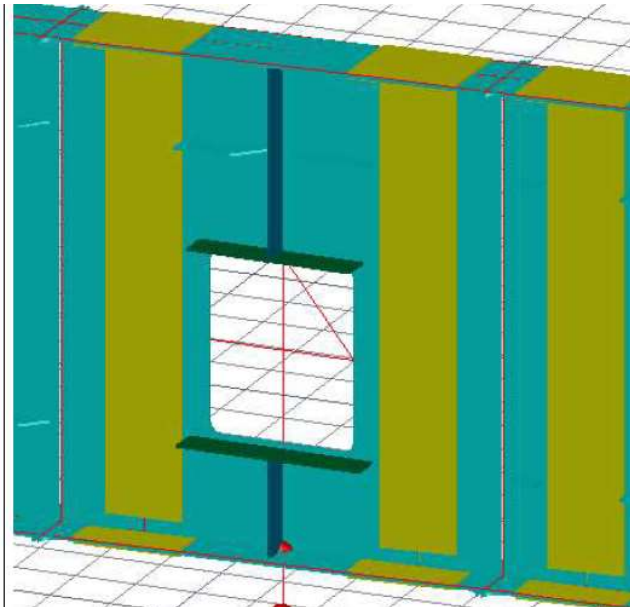


9. 横桁垂直補剛材の開口による分割

従来：垂直補剛材が開口を突き抜けていた

新機能：カラープレート付きの場合は、カラープレート位置で分割、無い場合は開口位置で分割。ダブリング付きの場合に対応していない。

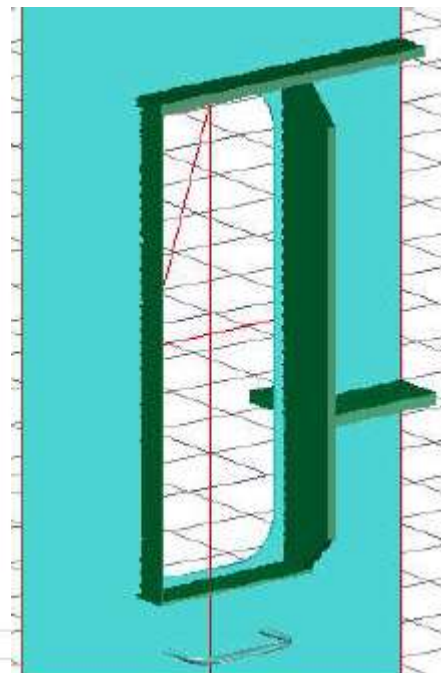
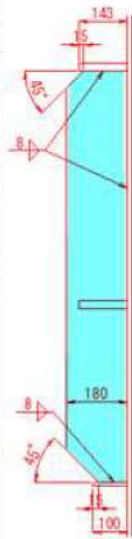
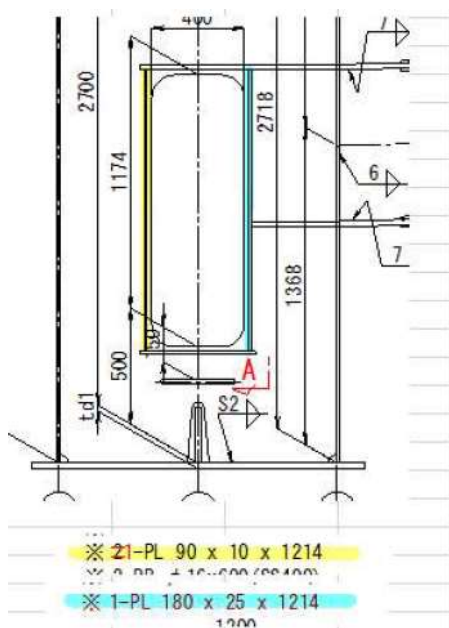




10. 開口の左右カラープレート厚・幅を変更する機能追加

従来：左右同一材料しか設定できなかった。

新機能：左右を分けて入力する機能追加



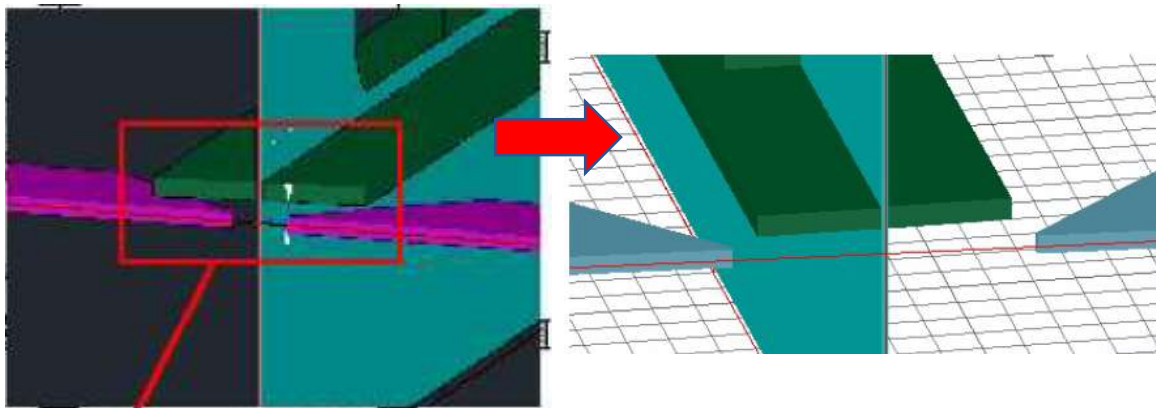
VH 取付面	CLH	CLV	CLS	H幅	H厚	H材質	V幅	V厚	V材質
表/両	-1/-1/30/-1	0	20	100	28/10	SM490YB	90/180	10/25	SM400A
表/両	-1/-1/-1/30	0	20	100	28/10	SM490YB	180/90	25/10	SM400A

1 1. 主桁水平補剛材と格点ダイヤ水平補剛材の自動取り合い機能追加

従来：自動取り合いをしていないので近接エラーとなっていた

新機能：カラープレート、補強リブとの自動取り合い計算追加

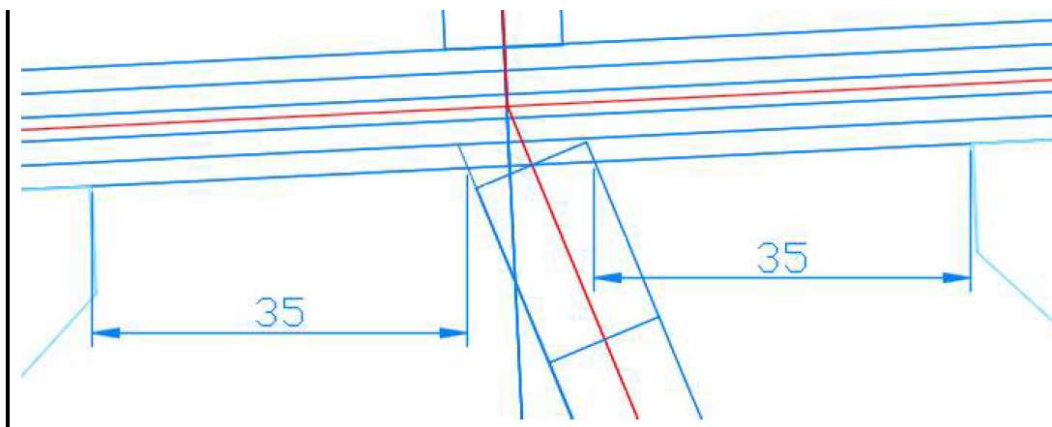
近傍判定値は横桁フランジと同値とする



1 2. 主桁水平補剛材の自動取り合いで対象の補剛材取り付け角考慮

従来：角度を考慮していなかったため、角度がきついと隙間が十分確保できていなかった

新機能：角度を考慮して離れを計算

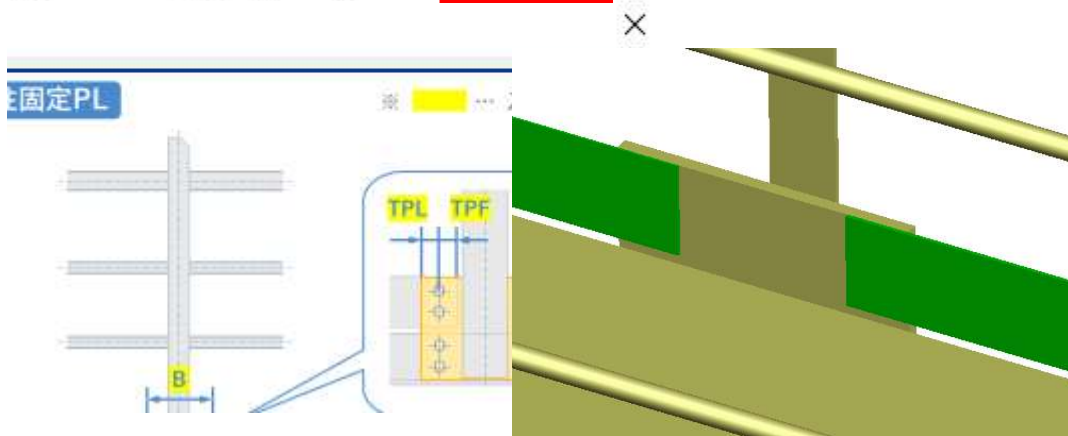


1 3. 検査路爪先板の分割機能追加

従来：爪先板は中間支柱位置で分割されず、左右 1 枚となっていた。

新機能：中間支柱位置で分割する機能を追加

分割部 支柱固定PL H	B	T	控え z1	TPL	TPF
240	215	12	10	30	30
215	215	12	10	30	30
190	315	12	10	30	30
190	315	12	10	30	30
190	285	12	10	30	30
165	185	6	10	30	30



1 4. 壁高欄に目地モデル追加

